

【豪州】

11-12 月の市場動向トピックス

- 2018 年 11 月の訪日豪州人数は、前年同月比 1.6%増の 39,800 人で、11 月として過去最高を記録。
- 2018 年 12 月の訪日豪州人数は、前年同月比 11.0%増の 63,600 人で、12 月として過去最高を記録。
- 継続的なプロモーションによるメディア露出の増加や訪日旅行機運の高まりに加え、直行便の増便による航空座席供給量の増加も相まって、訪日者数は堅調に推移した。

11-12 月の主なプロモーション活動

- 11 月、「Enjoy My Japan グローバルキャンペーン」と連動した招請を実施。まず 1 日～7 日、インフルエンサー 2 名を招請し、食をテーマに北海道、鹿児島、大分、熊本を巡っていただいた。続いて、10 日～16 日に大阪、徳島、高知にインフルエンサー 2 名を招請、祖谷のかずら橋や仁淀川などの自然の魅力を実際に感じていただいた。
- 豪州からの訪日教育旅行の一層の拡大を目的に、11 月 13 日にメルボルン、15 日にアデレードにて、現地旅行会社と共催で、主に現地の教員を対象にした「訪日教育旅行セミナー」を開催し、参加者と現地旅行会社、日本側共同出展者間で、情報提供や活発な意見交換が行われた。
- 12 月 4 日にブリスベン、6 日にシドニーにて、現地旅行会社を対象とした JNTO 主催のセミナー・商談会「Japan Roadshow 2018」を開催。日本側はブリスベンでは 31 団体、シドニーでは 46 団体が出展し、豪州側参加者もブリスベンで 101 名、シドニーでは 176 名と過去最大規模となった。セミナーでは、JNTO による訪日旅行に関するプレゼンテーションに加え、元ラグビー選手で日本在住経験もあるクレイグ・ウィング氏に、日本でのラグビーワールドカップ 2019 開催への期待や、日本在住時の経験・おすすめなどを紹介していただき、参加者から好評を得た。
- 12 月 8 日にシドニーのタンパロンパークにて開催された「MATSURI JAPAN FESTIVAL」に出展。主催者発表によると、来場者は 4 万人と大いに賑わいを見せた。JNTO ブースには約 4 千人が来訪し、訪日旅行にかかる情報提供を行い、魅力を PR した。



「Japan Roadshow 2018」

(左)商談会の様子



(右)クレイグ・ウィング氏によるプレゼンテーション



「MATSURI JAPAN FESTIVAL」